

## 第 44 期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画終了報告書

2017 年 8 月 23 日

井山 明日香

このたび日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画に参加させていただきメキシコで一年間生活するという貴重な時間を過ごすことができました。到着した頃はスペイン語があまりわからずそのうえ海外での長期滞在も初めてで、ひとりで買い物ですることさえ緊張していた私でしたが、周囲の方々の助けもあってこの1年間の滞在中で語学力だけでなく人間力も向上できたのではないかと思います。

滞在中は多くの時間をメキシコ国立大学(UNAM)付属の語学学校(CEPE)で過ごしました。実は渡航前の研修計画は半年間ほど UNAM で自身の専攻に関する研究に取り組む予定でしたが CONACYT(本計画を管理する機関)が規定するスペイン語クラスのレベルまで達することができず本格的に研究をすることはできませんでした。それは残念でしたが、一年間 CEPE でスペイン語の勉強に没頭した時間は非常に充実したものになりました。基本的にクラスは約 14 人前後で、語学を習う環境としては大人数で構成されていました。そのような中でも積極的に発言をしたり疑問点を授業後に先生に聞いたりするなどをして授業に参加していました。CEPE ではスペイン語の授業だけでなく伝統舞踊のクラスにも参加しました。そのクラスではメキシコの様々な州から生徒で好きな踊りを選び、学期末には本格的な衣装を着て発表会を行います。国立の舞踊団が頻繁にメキシコシティの劇場などで公演を行っていたり幼稚園や小学校の児童がその地域の伝統舞踊を学んだりするようで、そのようにメキシコに深く根付いている文化を知ることができかつ達成感のあるクラスでした。

CEPE 以外では渡航前から自分の好きなことを通じてスペイン語を武者修行したいと思っていました。そこで中学校と高校で吹奏楽部に所属していた経験を活かして、UNAM の音楽学部にある吹奏楽団に聴講生として所属させていただきました。入団したばかりのころは周囲の言うことが理解できず非常に苦労しましたが私の拙いスペイン語を辛抱強く聞いてくれたり友人が簡単なスペイン語で話してくれたりしたおかげで語学力をぐんと伸ばすことができました。またメキシコシティで有数の歴史を誇るホールや人気の観光地チャプルテペック城など様々な演奏機会をいただき大変貴重な経験をすることができました。

また CEPE は六週間でひとつの学期となっていて学期間には約一週間の休暇があります。その休暇期間以外にも冬休み(12月)やセマナサンタ(キリストの復活を祝う宗教行事)、夏休み(7月)があり、たくさんの余暇がありました。私はその時間の多くを使ってメキシコのいろいろな州を訪れました。メキシコには自然も多くありますが、お

内容に歴史的な建造物もたくさんあります。アステカ人やマヤ人などの先住民が立てたピラミッド遺跡や、スペイン人がアメリカ大陸を征服するための手段として建設した教会が多くあります。そのなかでも感動的だったのが広島県と友好提携を結んでいるグアナフアト州にあるピピラの丘からの眺めです。ここはグアナフアトの町を俯瞰できる展望台となっていて、カラフルな街並みが一望できます。スペイン人が銀採掘のために作り上げたコロニアル都市の風景によって街がいかに銀によって栄えていたのかを感じることができました。

多くの日本人が「メキシコ」と聞くとサボテンやテキーラ、大きな帽子をかぶったおじさんのような印象を抱くのではないのでしょうか。そのようなステレオタイプがまだまだ日本では根付いていると思いますが、私が約一年間滞在して感じたのは、今、メキシコは非常に成長をしているということでした。街ではインフラ整備が活発に行われていて、物価もどんどん上がっています。実際、近年日系企業が多く進出していることからいかにメキシコが注目されているかもわかると思います。しかし、近代化が非常に進んでいる一方地方と都市の格差、貧富の格差が非常に大きくその差はこれからも開いていくのではないかと感じ取られました。川で洗濯するしかない小さな村、地下鉄で物乞いをする人などいろんな人を見かけました。このように日本人にとってメキシコの実態はまだまだ知られてない部分が多いのではないのでしょうか。またメキシコ人の日本のイメージといえば、寿司、アニメなどが主流です。現在相互に経済的なかわりが強くなってきているものの、まだまだお互いの国の実態は知られていません。今後は相互の実態を深く知る機会や国の観光や文化などの魅力を伝える場をいかに一般化していくかが課題となるのではないのでしょうか。

この研修を通じて今後もスペイン語学習を継続し、ゆくゆくは日本とメキシコの実態や魅力を伝えることのできる人になるという新たな目標ができました。この1年は多くの力を借りて実りのある1年を送ることができました。今後はこの1年間の経験をもとに自分の力でメキシコと日本の架け橋になることを目標に努力していきたいと思えます。最後に、今回の研修においてご支援いただきました広島県庁及び外務省、メキシコ政府の皆様に深くお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。